

～ 社会福祉施設関係団体に協力を要請しました～

## 労働災害のない安全で安心な職場づくりを要請

社会福祉施設の労働災害は過去から一貫して増加しており、平成30年は、過去最大となる115件もの労働災害が発生しました。この増加傾向は令和元年となる今年も継続状況にあります。(5月末現在)

この状況に歯止めをかけ、増加傾向を減少傾向に転じるための機会としてもらうため、奈良労働局(局長 川村 徹宏)は、全国安全週間中に県内の社会福祉施設関係団体あて、労働災害の防止を訴えた要請を行うこととし、7月3日には、奈良労働局長が、特別養護老人ホーム「やすらぎ園」を訪れ、奈良県老人福祉施設協議会会長の植田施設長に対し、社会福祉施設の労働災害発生状況を説明するとともに、安全で安心な職場づくりについて協力を要請し、要請書を手渡しました。



奈良労働局  
局長 川村 徹宏

奈良県老人福祉施設協議会  
会長 植田 誠 さん